

事務事業名	課長職昇任試験実施		所属部局	総務部	単位番号	3075
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	人事課	課長名	清水栄男
			所属担当	人事担当	担当者名	石原康雄
基本政策	基本計画	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 項 目 細目 細々目
政策	01	行財政改革の推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金		
施策	02	行政改革の推進				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 20 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠	課長昇任試験実施要綱	
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 組織の活性化及び行政運営の効率化を図るため、やる気高め、人を活かす人事制度を実現する。 1次試験及び2次試験業務 受験対象者の範囲の決定 論文試験の採点委託 昇任者の決定		事業費の主な内訳 (22年度)			
	受験項目の決定 面接官の決定		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
			報償費	10		
		需用費	1			
		委託料	93			
				計	104	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	1次試験(論文)及び2次試験(面接)の実施
23年度活動予定	1次試験(論文)及び2次試験(面接)の実施
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
受験対象職員	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
意欲と実力のある職員を課長に登用することにより、組織の活性化を図る。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
より良い人材を課長職に登用することにより市民サービスの向上を図る。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない		
名称		単位
ア: 受験者数		人数
イ:		
ウ:		
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない		
名称		単位
ア: 受験対象者		人数
イ:		
ウ:		
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない		
名称		単位
ア: 課長職昇任試験合格者		人
イ:		
ウ:		
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない		
名称		単位
ア: 市の職員は信頼がおけると感じた割合		%
イ:		
ウ:		

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	146	104	255	0	0	0	
		事業費計(A)	千円	146	104	255	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80	80	
		人件費計(B)	千円	357	357	317	317	317	317	0
		(A)+(B)	千円	503	461	572	317	317	317	0
	活動指標	人数		35.0	42.0	38.0	38.0	38.0	38.0	
	対象指標	人数		19.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	
	成果指標	人		11.0	11.0					
	上位成果指標	%		37.8	46.2					

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたか?	平成20年に実施し、平成21年度の管理職から適用した。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	受験率が低下している。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	議会から受験者や合格者数について質問があった。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている [内容] <input type="checkbox"/> 取り組みしていない [理由]
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	公平性・透明性を確保するため外部面接官を登用した。
H 22年度に実施した改革改善の内容	公平性・透明性を確保するため外部面接官を登用した。

事務事業名	課長職昇任試験実施	所属部	総務部	所属課	人事課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 【理由】 管理職にふさわしい人材を登用することにより組織力が上がり事業がスムーズに遂行される。
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 市としての人事管理事務である。
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 【理由】 管理職としてふさわしい能力と意欲を持った職員を登用するには必要な制度である。
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 【理由】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない 【理由】 受験率の向上を検討する。
	類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる 【理由と具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 【理由と影響の内容】 昇任試験を廃止すると、職員の昇任に関する透明性・公正性が担保できなくなる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない 【理由】 昇任試験を廃止すると、職員の昇任に関する透明性・公正性が担保できなくなる。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由】 透明性・公平性を維持するのは外部の専門機関に委託する必要がある。
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 【理由】 職員は、他業務と兼務で処理をしているため最小人数で対応している。
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある 【理由・具体案】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 受験対象職員には全員受験の機会を与えている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	人事評価制度による勤務成績の評価が定着すれば試験はいらなくなるが、評価の精度の向上が求められる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性、の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性、の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性、の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性、の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性、の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 人事評価制度の定着化を図る。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 評価の精度を向上が必要である。そうすれば、被評家者が納得する。	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td></td> </tr> </table>	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						